



THE SERVICE CLUB FOR THE YMCAs

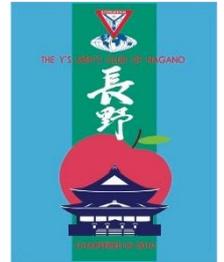
CHARTERED IN 2010

長野ワイズメンズクラブ 会報

2025年7月 第173号

THE Y'S MEN'S CLUB OF NAGANO

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS



2025~2026年度 主題

長野クラブ会長 湯田勝彦

「15年間の思いを糧に前を見つめよう」

Look Forward through Our 15-Year Memories

あずさ部長 山口直樹 (東京武蔵野多摩)

「垣根を低くし、活発な交流を」

東日本区理事 山下 真 (十勝)

「ワイズのらしさ再発見」 Rediscovering Y's Uniqueness

アジア地域会長 田上 正 (熊本むさし)

「信念と愛をもって行動しよう」 Act now with faith and love

国際会長

エドワード・オン (シンガポール) 「信念、愛、行動」 Faith, Love, Action

今月の聖句

『神のなされることは皆その時にかなって美しい。神はまた人の心に永遠を思う思いを授けられた。』

(旧約聖書 伝道の書 (コヘレトの言葉) 3章 11節 ※口語訳)

2025年7月 キックオフ例会案内

- 日時 2025年7月24日(木) 18:30~20:30
※例会の曜日は第4木曜日に変更しています。
- 会場 レストランやま 380-0834 長野市問御所 1315
例会進行: 森本
(進行係を月替わりで交代したいです。8月は湯田)
- ・開会点鐘 会長
- ・ワイズソング、ワイズの信条
- ・聖書朗読、祈禱
- ・会長あいさつ
- ・ゲスト、ビジター、キャンディデイト紹介 書記
- ・ワイズディナー 食前の祈り:
- ・卓話 卓話者:
- ・諸報告・諸連絡、ハッピーバースデー
- ・ニコニコ献金、会員一言 会計
- ・YMCAの歌
- ・閉会点鐘 会長

★★ 巻頭メッセージ ★★

『2025-2026 会長主題について』

湯田勝彦

性格的には書記の湯田ですが、今年度は会長を務めます。その思いと願いは、会長主題「15年間の思いを糧に前を見つめよう」に込めました。

英訳として、Look forward through our 15-year memories もつけました。受験の英作文とは違い、「糧に」を「through」と訳しました。長野クラブの15年間は単なる歴史ではなく、血であり肉なのだ。その「思い」を私達会員が自分のこととして噛みしめ消化してこそ、前を見つめることができる。その思いを「through」に込めました。

今年度の重点事項は3つ。①全員参加のクラブ運営、②待ち遠しくなる例会、③15周年は栄村で迎える、です。①は、特定の人のカラー、例えば「湯田さんのカラー」でクラブを引っ張るのではなく、皆さんのそれぞれの色が混ざった「新しい色」でクラブ運営したいという意味です。②は、これは私達長野クラブの自慢「例会での楽しい雑談」です。これを大事にして、心から例会を楽しむ、次の例会が待ち遠しくなることが、次のステップに必ずつながると信じます。③は、長野クラブが15周年の節目を迎えるなら「栄村に行きたいね」と自然に口から出たことが、すべてを語っています。栄村での特別例会を、私達全員の思いの詰まった時にしたい。

7月

ハッピーバースデー
なし

ແປປີເບີຣ໌ດເດຍ ຄຣັບ!!

6月のデータ

会員数	7名
例会出席者数	4名
ゲスト	0名
ビジター	0名
例会出席率	57.1%
メーキャップ	0名
修正出席率	57.1%
ニコニコ献金	実施せず

2025-26年度

会長	湯田 勝彦
副会長	福島 貴和
書記	森本 俊子
会計	堀内 雅俊

6月26日例会



6月例会報告（区大会報告、特別例会の相談）

森本俊子

湯田さん、勝田さんが欠席、堀内さんが7時半まで他の会があるので、福島さん、倉石さんと森本でお弁当を食べながら、区大会のエピソード中心に話を進めました。プリテンの速報組み写真を身ながら、会場が宇都宮駅に直結してしかも近代的な設備を整えた造りで驚いたこと、路面電車が素敵で羨ましかったこと、湯田さんが参加した「フィンランディア」の演奏が合奏と合唱による豪華なステージで、昨年 YVLF の最中に亡くなった城田ワイズを偲ぶ素晴らしい演奏だったこと、その間福島ワイズはバナーセレモニーの準備で舞台袖で待ったこと、懇親会の席上では、餃子の街として知られる宇都宮らしく、市内の有名餃子店4店による食べ比べ出来る餃子焼きの実演食べ放題の様子を報告しました。

また、ゲスト公演の立川晴の輔師匠による、高座の前に立ってのスピーチが、談志、志の輔に連なる立川流らしい理路整然とした「マクラ」だったと感心し、改めて笑点の新メンバーに選ばれる若手としての実力を見せつけられたこと、本編の落語のあと、宇都宮クラブのメンバー青木敬信さんがステージに招かれ、晴の輔さんが所属する東京農業大学落語研究会 OB 会の会長として紹介されるという粋な演出、大会のお土産も青木醸造の味噌と塩麴のドレッシングだったことを報告しました。なんと素晴らしいつながり、ワイズにふさわしいエピソード、と感心しました。

大会は香港からアジア太平洋地域会長ジョアン・ウォンさん、鶴丹谷西日本区理事を迎え、ユースアクションチーム（盛岡 YMCA ユースリーダーからできた「子どもの人権チーム」）による活動報告と、川越クラブとの IBC 締結が決まったインドのハイデラバードクラブの会長以下 8 名が登場し、大変感慨深い締結式が行われました。大阪土佐堀クラブと千葉クラブの DBC 締結式も行われました。手際よい進行で、一日で 2 年間理事を務めた山田公平さんから 2 年間予定で新理事に就任する北海道十勝クラブの山下真さんにバトンが渡されました。

長野クラブもノンドロップ賞、国際交流事業 BF 献金達成賞、RBM 献金達成賞、ユース事業ユース活動支援献金達成賞、ユース事業 YIA 推進賞と地域奉仕活動特別賞（長野クラブを挙げて取り組んだユース for 能登の活動のサポートに対して）をいただきました。

代議員会議決事項では、かねてから検討していた事業主査の区直結化、評議会・部大会・会長会などの効率化、Zoom 利用による簡素化など、大きく変更がなされました。7月の部評議会は 26 日、東京山手 YMCA で開かれます。

大会報告の後、堀内さんの出席を得て、栄村で 10 月 25 日に行われる予定の長野クラブ 15 周年記念例会について、湯田さんが作ってくださった原案に従って打ち合わせしました。

お土産については、お米が間に合えば 1 キロでもぜひとか、トマトジュースも評判がいいとか、登録料がいくらになりそうとか、意見が出ました。ゲストスピーカーに、下（しも）教育長に、被災地の子ども同士の交流（豊野と栄村）はどうか、旧のよさの里の阿部さんなどとも連絡取り合ってはどうか、という意見も出ました。大筋原案にしたがってやっていると話し、7月はキックオフでもあり、登録費を多くして懇親しようと話し合いました。

主な記念例会、行事などの予定

7/26(土) 10:30~15:00 第 1 回あすさ部評議会・あすさの

集い（於：東京 YMCA 山手コミュニティセンター）

※「あすさの集い」は部大会と同じく親睦会の位置づけです。

議決権者だけでなく会員全員にご参加いただきたいです。

8/1(金)~3(日) 第 31 回アジア太平洋地域大会（於：熊本）

※長野クラブからは森本さん、福島さんが参加されます。

8/28(木) 18:30~20:30 8 月例会（於：レストランやま）

9/20(土) 甲府 21 クラブ恒例「ぶどう棚例会」

9/27(土) 28(日) 富士五湖クラブ恒例「富士山例会」

※このふたつは「楽しい例会」の参考に、一度はご参加を！

10/25(土) PM 10 月（仮称）栄村コシヒカリ特別例会

（於：中条温泉トマトの国）※長野クラブチャーター 15 周年記念例会、また、秋の「あすさの集い」として行う予定です。

☆栄村特別例会打合せ 報告写真です☆

湯田勝彦

先月のプリテンで、6/21（土）、栄村へ行き、福原一男さんにお会いした報告をしました。懐かしい、栄村の風景の写真を紹介します。



←森宮野原駅。
上下線に列車が！

栄村の交流館。昔は →
振興公社事務所があった。

山梨YMCAだより

共に歩む Y・Ys

総主事 中田 純子

2024 年度会長の皆さま、そしてクラブ会員の皆さまへ、心より感謝申し上げます。

この一年、甲府クラブ、甲府 21 クラブ、富士五湖クラブ、長野クラブ、松本クラブ、やまなみクラブ、の各地域において、YMCA の理念のもと、さまざまな社会貢献活動を展開していただきました。皆さまのリーダーシップと献身的なご協力により、地域子どもたちや若者たちに多くの希望と成長の機会がもたらされたことに、心から感謝いたします。

今年度は、ユースボランティアとシニアボランティアが中心となり「銀河鉄道の森プロジェクト」を支えていただきました。山梨 YMCA が葦崎市中田に整備を進めているこのキャンプ場は、中央本線を走る電車の夜景がまるで銀河鉄道のように見えることから名付けられました。ユースリーダーを中心とした多くのボランティアの手によって、遊歩道や森の整備が進み、「人にも環境にも優しい森づくり」を目指した活動が着実に広がっています。毎回のワークでは、ワイズメンズクラブの皆さまが手作りカレーをふるまい、世代を超えた交流と支え合いが生まれていることは、私たちの誇りです。

また、アジア太平洋地域ユースコンファレンス (AYC) には、山梨 YMCA ユーススタッフが日本代表として選出され、国際的な視野を広げる大きな機会となりました。AYC への参加は、地域の若者たちが自信を持って未来へ歩む力となり、クラブとユースの交流も深まりました。

子どもたちの「第3の居場所」づくりやフリースクール支援も進展しています。山梨県では、不登校の児童生徒を持つ家庭へのフリースクール利用料補助が始まり、学びや安心できる居場所の確保に向けた支援が拡充されました。多様なニーズを持つ子どもたちが、それぞれの個性を大切にしながら安心して過ごせる「第3の居場所」づくりは、今後の地域社会にとってますます重要な課題です。

親クラブである甲府クラブは、YMCA 誕生と共に設立され、以来、青少年活動や国際交流、地域奉仕の中心的存在として歩み続けています。ワイズメンズクラブの最大の特徴は、YMCA への変わらぬ忠誠心と、会員同士の友情・信頼に基づく強い絆です。また、甲府 21 クラブをはじめとする各クラブが、ユースアクションや地域イベントで企画段階から協力し、実際の運営や現場でのサポートを惜しみなく提供して下さっていることは、山梨 YMCA にとって大きな力となっています。

2025 年度も、ワイズメンズクラブと YMCA が互いに支え合い、学び合い、未来を担う子どもや若者たちのために協働し、地域社会にとって欠かせない力となるよう、同じ時を歩んでくださいますようお願いいたします。会員の皆さまのご協力とご理解を賜りながら、共に歩んでいけることを心より楽しみにしております。

リレーエッセイ 2 巡目始まります！

昨年度、新しい試みとして、クラブ会員による『リレーエッセイ』を始めました。とても素敵なエッセイ、本当にありがとうございました。今年度も 2 巡目が始まります。指名された方はよろしく願いいたします。

1. 字数は 600~800 字程度
2. 今感じていること、ふだん興味があること、自分の趣味や特技、得意なことや苦手なこと、素朴な疑問、ペット自慢など、自由に書いてください。
3. 原稿には何か写真を一枚添付してください。
4. 最後に次の会員を指名してください。

★リレーエッセイ☆

福島貴和

何度も言っている通り、仏教は、人間釈迦の教えである。曰く、「祈るな、信ずるな」

インドにおいて、釈迦当時にはバラモンという人々がいて、盛んに「我々を信じなさい、我々を祈りなさい」と言って、人々からお金を巻き上げていた。

それを目に釈迦は考えた。人の上に立って説く教えには、人を祈ったり、信じたりすることはあり得ない。



玄証院 玄関の仏像

宗教なら、「祈り、信ずる」はあり得ても、ひとの道にはあり得ない。従って、初めから仏教は宗教ではなかった事になる。これが私の仏教に対する答えである。

当然、仏教には、絶対的な神という考え方は出てこない。人間釈迦は、人はどうあるべきかを考えた。人には個性があるが、いくら個性が違っていても、人間としては平等である。これが、私の考えた仏教の本質である。

★次回から二巡目です！ 湯田からスタートします。

編集後記

今年度、会長と兼務で、プリテンを担当させて頂きたいと志願しました。昨年一年間担当して刺激され、会員皆様のご協力のもと、長野クラブらしい「全員参加のプリテン」を目指します！報告ですが、東日本区ホームページ管理チームにも加わりました。(湯田)